

# 国民年金

国民年金の第1号被保険者(自営業者など)で、保険料を納め

## 法定免除

障害年金や生活扶助を受けている方は、届け出により全額免除になります。

## 申請免除

一定の所得等の基準に該当している方は、申請書を提出し、承認されると免除になります。

## 全額免除

保険料の全額(月額1万3300円)を免除する制度です。

## 半額免除

保険料の半額(月額6650円)を納め、残りを免除する制度です。

※失業等の場合には、特例として免除が認められることがあります。※免除承認期間は、7月～翌年6月。※免除を希望する方は、毎年申請が必要。

## ご持参いただくもの

- ①年金手帳
- ②印鑑(本人が署名する場合)

ことが困難な方には、保険料が免除になる制度があります。これには、法定免除と申請免除、学生納付特例の3つがあります。

# 節電ご協力

現在、電力供給が減っているため、夏に向けて電力不足が心配されています。ご家庭やオフィスの冷房は控えめに、また不要な電化製品のスイッチはこまめに切るなど、節電にご協力ください。

## 環境保全課(内533)

旧住所での課税証明書などが必要となります。

## 学生納付特例

20歳以上の学生で、前年の所得が一定基準以下(前年所得が68万円以下、収入が133万円以下)の人は申請書を提出し、承認を受けると、在学期間中の保険料が猶予されます。

①年金手帳  
②印鑑(本人が署名する場合)  
は不要

# “青少年に声かけを”

## 7月は「非行問題に取り組む全国強調月間」

7月は「青少年の非行問題に取り組む全国強調月間」です。期間中は、関係機関や諸団体により全国的規模で非行防止・健全育成の取り組みが行われます。地域や家族との触れ合いを大切にして、青少年が非行に走らない社会環境を作りましょう。

## 不良行為は黙認しない

青少年相談センターでは、青少年の非行防止のため、青少年補導員が、計画的に市内の繁華街・公園・駅周辺などの巡回や、不良行為少年への声かけを行っています。また、有害な看板、ポスター類の撤去活動にも協力しています。

## 啓発ポスター募集します

市と教育委員会では、非行防止啓発活動の一環として、ポスターを募集します。

- ▽応募資格 ①小学生の部 市内在住の小学5・6年生 ②中学生の部 市内在住の中学生
- ▽内容 青少年の非行防止に

## 今回のテーマ「防災」

### 第1回施設めぐり参加者募集

市では、市民を対象に生活と密接に結びついている公共施設を、実際に見学し、より一層理解を深めてもらうために施設めぐりを実施しています。

今回のテーマは「防災」。模擬災害体験がありますので、動きやすい服装と運動靴でご参加ください。

▽日時 7月23日(水)、午後1時～4時30分ごろ  
▽集合場所・時間 消防本部玄関前に午後1時集合  
▽見学コース 消防署→神奈川県総務防災センター(厚木市)→市役所  
※市のバスを利用  
▽対象・人数 市内在住の方・20人(先着順)。

氏名・住所・電話番号を、電話で広報広聴課(内274)へ。



## 新たな試み実施

「遊具の周りにチップ敷き公園！」  
市では、自然を生かした公園づくりの一環として、勝瀬子宝児童遊園(市役所西側角)内の滑り台や鉄棒などの遊具の周りにチップを敷きました(写真)。チップは、市内の公園の樹木から出た枝や葉を、再利用出来るように細かく砕いたものです。

利用者のみなさんの意見をいただきながら、今後も利用しやすい公園づくりを考えていきます。

公園緑地課(内624)。

## 安全通行お願い 道路上の放置・はみ出し物件

??ありませんか??

道路上にははみ出した生垣や庭木の枝、放置されたままの個人の所有物、車庫の出入口として使う乗り上げブロックなどは、交通の妨げになるばかりでなく、事故を引き起こす原因にもなります。歩行者・自転車などが安全に気持ちよく通行できるように、はみ出した生垣や庭木の枝などは刈り込みを行い、また個人所有物は路上に出さないよう、ご協力をお願いします。

建設管理課(内563)。



## 海外からの手紙

### 思いつくままに

「市長随想」を読まれた市民の方々から、今でも時々電話や手紙で励ましていただきたい、感想を寄せていただいたりしております。今回初めてのことですが、海外からお手紙をいただき、いよいよ私の随想も世界的に通

用し、一流になった? など、決してうぬぼれてはおりません。が、なにはともあれ、さっそくお礼の返事と思いい、今までの「市長随想」をまとめたものに、大きく様変わりした海老名駅前前の写真を添えてお送りしました。

その方は岩田英男さんとおっしゃり、妹さん家族が本市にお住まいで、帰国の都度妹さん宅に寄られているそうです。その際、広報紙に掲載されていた随想「失われゆく季節感」と日本人に目を通され「とても印象に残り、失礼ながら一度お便りしてみたく、ペンを取りました」という経緯があったようです。

岩田さんが、異郷の地で実感されたこの思いこそ、今の日本人が見落としている大きな課題と言えます。

海老名市長 亀井 英一